

第 74 回全国植樹祭岡山県実行委員会第 5 回総会

日 時：令和 4 年 7 月 20 日（水）13：30～14：30

場 所：メルパルク岡山 1 階「泰平」

次 第

1 挨 拶

2 報 告

- (1) プレ地域植樹について 【資料 1】
- (2) 苗木の育成体験（苗木のホームステイ・スクールステイ）の実施について 【資料 2】
- (3) 企業等協賛の募集について 【資料 3】

3 議 事

- 【第 1 号議案】 第 74 回全国植樹祭岡山県実行委員会会則の一部
改正について 【資料 4】
- 【第 2 号議案】 令和 3 年度収支決算（案）について 【資料 5】
- 【第 3 号議案】 基本計画（素案）について 【資料 6】

4 その他

- 今後の予定について 【資料 7】

<配付資料>

- 【資料 1】 プレ地域植樹の実施について
- 【資料 2】 苗木の育成体験（苗木のホームステイ・スクールステイ）実施について
- 【資料 3】 企業等協賛の募集について
- 【資料 4】 【第 1 号議案】 第 74 回全国植樹祭岡山県実行委員会会則の一部改正について
- 【資料 5】 【第 2 号議案】 令和 3 年度収支決算（案）
- 【資料 6】 【第 3 号議案】 基本計画（素案）について
- 【資料 7】 第 74 回全国植樹祭岡山県実行委員会（総会）の今後の予定

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

※ 総会終了後、協賛金贈呈式及び感謝状授与を予定しておりますので、引き続き、自席にてご参加ください

第74回全国植樹祭岡山県実行委員会 第5回総会 出席者名簿

日 時：令和4年7月20日（水）13：30～14：30

場 所：メルパルク岡山1階「泰平」 （敬称略）

番号	職名	機 関 ・ 団 体	役 職	氏 名	出欠	代理出席者
1	会長	岡山県	知事	伊原木 隆太	出	
2	副会長	岡山市	市長	大森 雅夫	出	
3	副会長	公益社団法人岡山県緑化推進協会	会長	小野 泰弘	出	
4	副会長	岡山県	副知事	横田 有次	出	
5	顧問	岡山県議会	議長	加藤 浩久	出	
6	委員	岡山県議会環境文化保健福祉委員会	委員長	市村 仁	欠	
7	委員	岡山県議会農林水産委員会	委員長	福島 恭子	出	
8	委員	林野庁近畿中国森林管理局岡山森林管理署	署長	岩田 幸治	出	
9	委員	環境省中国四国地方環境事務所	所長	上田 健二	出	
10	委員	岡山県市長会	会長	伊東 香織	出	事務局長 光藤 伸史
11	委員	岡山県町村会	会長	山崎 親男	出	事務局長 亀森 敏宏
12	委員	中国学園大学・中国短期大学	学長	千葉 喬三	出	
13	委員	岡山県立大学	理事長兼学長	沖 陽子	欠	
14	委員	岡山県森林組合連合会	代表理事会長	小野 泰弘	出	代表理事専務 池田 稔
15	委員	一般社団法人岡山県木材組合連合会	会長	田中 信行	出	
16	委員	岡山県山林種苗協同組合	理事長	難波 芳英	欠	
17	委員	公益社団法人おかやまの森整備公社	理事長	小谷 敦	出	専務理事 岡本 安順
18	委員	岡山県林業研究グループ連絡協議会	会長	三木 敬臣	出	
19	委員	岡山県農業協同組合中央会	代表理事会長	青江 伯夫	欠	
20	委員	一般社団法人岡山県商工会議所連合会	会長	松田 久	出	専務理事 高橋 邦彰
21	委員	岡山県商工会連合会	会長	田村 正敏	出	
22	委員	岡山県中小企業団体中央会	会長	晝田 眞三	出	専務理事 脇本 靖
23	委員	公益社団法人岡山県観光連盟	会長	石井 清裕	出	専務理事 野崎 正志
24	委員	岡山県旅館ホテル生活衛生同業組合	理事長	永山 久徳	出	
25	委員	西日本旅客鉄道株式会社岡山支社	理事岡山支社長	藤原 乗将	欠	
26	委員	公益社団法人岡山県バス協会	会長	小嶋 光信	出	専務理事 岡田 和史
27	委員	一般社団法人岡山県婦人協議会	会長	大西 泰子	出	
28	委員	社会福祉法人岡山県社会福祉協議会	会長	足羽 憲治	出	
29	委員	岡山県小学校長会	会長	竹本 俊哉	出	
30	委員	岡山県中学校長会	会長	小橋 宣彦	出	
31	委員	岡山県高等学校長協会	会長	武内 洋二	出	
32	委員	岡山県私学協会	会長	金光 道晴	出	
33	委員	岡山県特別支援学校長会	会長	山岡 格史	出	副会長 土居 隆博
34	委員	公益財団法人岡山県環境保全事業団	理事長	坂井 俊英	出	専務理事 吉田 光宏
35	委員	公益社団法人岡山県文化連盟	会長	若林 昭吾	出	専務理事 岡野 千鶴
36	委員	公益財団法人岡山県郷土文化財団	理事長	石井 清裕	出	常務理事 信江 幸雄
37	委員	環境文化部	部長	佐藤 将男	欠	
38	委員	産業労働部	部長	三浦 智美	出	
39	委員	農林水産部	部長	万代 洋士	出	
40	委員	教育委員会	教育長	鍵本 芳明	出	
41	委員	警察本部	本部長	檜垣 重臣	出	
42	参与	株式会社山陽新聞社	代表取締役社長	松田 正己	出	社長室長 江見 肇
43	参与	株式会社朝日新聞社岡山総局	総局長	浅見 和生	欠	
44	参与	株式会社毎日新聞社岡山支局	支局長	相原 洋	出	
45	参与	株式会社読売新聞社岡山支局	支局長	春名 健吾	出	
46	参与	株式会社産業経済新聞社岡山支局	支局長	高田 祐樹	欠	
47	参与	株式会社中国新聞社岡山支局	支局長	中島 大	欠	
48	参与	株式会社日本経済新聞社岡山支局	支局長	深野 尚孝	出	
49	参与	株式会社日刊工業新聞社岡山支局	支局長	清山 信彦	欠	
50	参与	一般社団法人共同通信社岡山支局	支局長	土屋 景	出	
51	参与	株式会社時事通信社岡山支局	支局長	堀川 弘文	出	
52	参与	日本放送協会岡山放送局	局長	田中 意澄	出	
53	参与	R S K山陽放送株式会社	代表取締役社長	里見 俊樹	出	総務局長 長原 正明
54	参与	岡山放送株式会社	代表取締役社長	中静 敬一郎	出	取締役 奥原 寛樹
55	参与	西日本放送株式会社岡山本社	岡山本社中国総支社長	中川 弘之	出	
56	参与	株式会社瀬戸内海放送岡山本社	取締役執行役員岡山本社代表	三木 栄	出	
57	参与	テレビせとうち株式会社	代表取締役社長	土井 雅人	出	
58	参与	岡山エフエム放送株式会社	代表取締役社長	塩飽 哲文	出	
59	参与	岡山県ケーブルテレビ振興協議会	会長	石井 正人	出	事務局長 富長 一郎
60	監事	岡山市	会計管理者	石井 敏郎	出	
61	監事	岡山県	出納局長	森下 慎	出	

第74回全国植樹祭岡山県実行委員会 第5回総会 配席図

日 時：令和4(2022)年7月20日（水）13：30～14：30
場 所：メルパルク岡山1階「泰平」

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

出入口

受付

【報告】

プレ地域植樹について

第 74 回全国植樹祭では、令和 6 年春の本県開催に向けて、県民の緑化意識の更なる醸成を図るとともに開催機運の盛り上げに取り組むこととしている。

植樹祭記念事業として、多くの方々に森林や身近なみどりの大切さについて知っていただき、開催効果を高めるため、県民参加による地域植樹を開催する。

1 主催

第 74 回全国植樹祭岡山県実行委員会

2 事業概要

- (1) 開催日時 令和 4 年 10 月 8 日（土） 9：00～17：00
（荒天時は 10 月 22 日（土））
- (2) 実施内容 植樹、木工・林業体験等
- (3) 開催場所 津山市阿波地内
 - ・植樹会場：大ヶ山牧場跡地
 - ・集合場所：津山市阿波出張所
- (4) 植樹樹種 ヤマザクラ、イロハモミジ、コナラ、クスノキ
計 1,200 本（3 本／人）
- (5) 募集人数 400 人（うち津山市民枠 200 人）
※参加者を約 80 人程度のグループに分けて実施

3 申込方法

7 月 8 日（金）より、岡山県電子申請サービスにて募集中

【参考】



植樹



木工体験

【報告】

苗木の育成体験（苗木のホームステイ・スクールステイ）の実施について

1 目的

令和6年春の本県開催に向けて、県民の緑化意識の更なる醸成を図るとともに開催機運の盛り上げに取り組む一環として、多くの方々に、森林や身近なみどりの大切さについて知っていただくため、学校等を対象に参加団体を募集し、実施するもの。

2 募集結果

- ・ 募集期間 4月18日～6月10日
- ・ 応募数 学校等から36団体

3 取組概要

- ・ どんぐり等の樹種を2年程度育成
- ・ 育成後の苗木は、全国植樹祭開催後のアフター地域植樹で活用
- ・ 植え付け時には、専門員が出向き、苗木の育成指導にあわせ森林や身近なみどりの大切さを学ぶ学習会等を実施する予定で、各団体と日程等を調整中

<参考：令和3年度事業の実施状況>



<集合写真>



<ヒノキの植え付け体験>

4 参加団体 (36 団体)

(1) 幼稚園・保育園・こども園 (10 団体)

岡山市神下保育園	岡山市千種認定こども園
株式会社木の里工房木薫 もりの香保育園津高園	NPO 法人ほがらか西市 ほがらか西市保育園
学校法人就実学園 認定こども園就実こども園	社会福祉法人愛あい会 ポエムこども園ひらつ
Earlybirds InternationalSchool	誠和会倉敷記念病院ファムレウタ
社会福祉法人摩耶会 まやこども園	社会福祉法人摩耶会 笠岡認定こども園

(2) 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校 (24 団体)

岡山市立津島小学校	岡山市立福島小学校
学校法人就実学園就実小学校	岡山大学教育学部附属中学校
岡山県立御津高等学校	岡山県立鳥城高等学校
岡山県立岡山南高等学校	学校法人山陽学園 山陽学園中学校・高等学校
倉敷市立粒江小学校	津山市立加茂小学校
玉野市立玉原小学校	岡山県立高梁城南高等学校
新見市立刑部小学校	学校法人天真学園 岡山県共生高等学校
岡山県健康の森学園支援学校	岡山県立勝山高等学校蒜山校地
岡山県立勝間田高等学校	早島町立早島小学校
矢掛町立川面小学校	矢掛町立三谷小学校
矢掛町立美川小学校	鏡野町立富小学校
鏡野町立南小学校	鏡野町立奥津小学校

(3) その他団体 (2 団体)

就実学園森林研修センター 「就実・森の学校」	まや児童クラブ
---------------------------	---------

(注) 参加団体は市町村別に掲載している。

【報告】**企業等協賛の募集について****1 趣旨**

第 74 回全国植樹祭を成功へと導き、一過性のイベントとして終わらせることがなく、県民をはじめとする多くの方々に心に残る実り多いものとするため、趣旨に賛同する企業等に広く資金や物品等の支援・協力を求めるものである。

2 内容**(1) 種類**

- ①資金協賛 開催等に要する資金の提供
- ②物品協賛 開催等に要する物品の提供
- ③その他 機器等の無償貸与や役務の提供、広報掲示等による協力

(2) 特典

協賛金額に応じ、式典会場や公式ホームページ、記録誌等への協賛者名の掲載等を行う。

3 募集期間

令和 4 年 7 月 2 0 日から令和 6 年 3 月 3 1 日まで

4 手続き

- (1) 企業等からの協賛申込書の提出
- (2) 不受理対象でないことを確認
- (3) 受理書による通知
- (4) 協賛資金等の納入（受入）

別表 2（第 8 条第 1 項関係）

協賛者特典一覧

区 分		200 万円以上	100 万円以上 200 万円未満	30 万円以上 100 万円未満	1 万円以上 30 万円未満
1	全国植樹祭式典での「特別招待者枠」の確保	○ 2 枠	○ 1 枠		
2	感謝状の贈呈	○	○		
3	式典会場大型スクリーンでの紹介	協賛者ロゴ	○	○	
		協賛者名	○	○	
4	式典プログラム、式典会場協賛者ボードへの掲載	協賛者ロゴ	○	○	
		協賛者名	○	○	
5	おもてなし広場への出展	○	○	○	
6	全国植樹祭ホームページでの協賛者の紹介	協賛者ロゴ	○	○	
		協賛者名	○	○	○
7	全国植樹祭ホームページでの協賛者ホームページへのリンク	○	○	○	○
8	全国植樹祭記念誌への掲載	協賛者ロゴ	○	○	
		協賛者名	○	○	○
9	植樹祭支援呼称・シンボルマーク等の使用	○	○	○	○
10	地域植樹での「招待者枠」の確保	○	○	○	○

【留意事項】

①協賛者の特典区分について

網掛部分が協賛者の特典となります。

なお、新たな特典を追加する場合があります。

②「3・4・6・8」について

掲載については協賛金の多い順とし、同額の場合には申込み順とさせていただきます。

なお、金額と申込みがともに同じ場合は、五十音順に紹介させていただきます。

また、掲載、紹介スペースの関係から協賛者のロゴマークの大きさや掲載有無を調整させていただきます場合があります。

③全国植樹祭ホームページへの掲載について

全国植樹祭専用ホームページに、協賛金の納入後（または協賛物品の納品後）掲載します。

④「9」について

植樹祭支援呼称は、「○○○（協賛者名）は第74回全国植樹祭を応援しています。」とし、使用時期は、協賛金の納入後（または協賛物品の納品後）とします。

また、シンボルマークは協賛金の納入後（または協賛物品の納品後）、「第74 回全国植樹祭シンボルマーク及びロゴマークの使用に関する規程」の許諾制限に該当しないことの確認書の提出と完成見本の確認の後に使用可能となります。

【第 1 号議案】

第 74 回全国植樹祭岡山県実行委員会会則の一部改正について

1 別表第 1 の改正（第 4 条関係）【実行委員会】

（内容）

会則の別表第 1 の改正

○ 委員（緑化・林業）

（改正前）一般社団法人岡山県森林協会

（改正後）公益社団法人おかやまの森整備公社

（理由）

令和 4 年 4 月 1 日付けで、「一般社団法人岡山県森林協会」と「公益社団法人おかやまの森整備公社」が合併したため。

2 別表第 2 の改正（第 11 条関係）【幹事会】

（内容）

会則の別表第 2 の改正

○ 幹事（市町村）

（改正前）岡山市都市整備局 都市・交通・公園担当局長

（改正後）岡山市都市整備局 都市・公園担当局長

（理由）

岡山市都市整備局の職名に変更があったため。

3 施行日

令和 4 年 7 月 20 日

4 新旧対照表

別紙のとおり

第 74 回全国植樹祭岡山県実行委員会会則の一部改正 新旧対照表

改正前				改正後			
第 1 条～第 18 条 （略）				第 1 条～第 18 条 （略）			
				附 則 この会則は、令和 4 年 7 月 20 日から施行する。			
別表第 1 （第 4 条）【実行委員会】				別表第 1 （第 4 条）【実行委員会】			
職 名	区 分	所 属	役 職	職 名	区 分	所 属	役 職
(略)				(略)			
委 員	(略)			委 員	(略)		
	緑化・林業団体	一般社団法人岡山県森林協会	会 長		緑化・林業団体	公益社団法人おかやまの森整備公社	理事長
(略)				(略)			
別表第 2 （第 11 条関係）【幹事会】				別表第 2 （第 11 条関係）【幹事会】			
職 名	区 分	所 属	役 職	職 名	区 分	所 属	役 職
(略)				(略)			
幹 事	(略)			幹 事	(略)		
	市町村	岡山市都市整備局	都市・交通・公園担当局長		市町村	岡山市都市整備局	都市・公園担当局長
(略)				(略)			

【第 2 号議案】

令和 3 年度収支決算（案）について

(1) 収入の部

(単位：円)

区 分	当初予算額	収入済額	増 減	摘 要
1 負 担 金	14,980,000	14,980,000	0	岡山県負担金
2 諸 収 入	0	101	101	預金利息
合 計	14,980,000	14,980,101	101	

(2) 支出の部

(単位：円)

区 分	当初予算額	支出済額	不用額	摘 要
1 総 務 費	1,213,000	1,128,102	84,898	実行委員会・幹事会・ 専門委員会開催費 等
2 開催事業費	11,199,000	9,666,038	1,532,962	基本計画作成、苗木 の育成体験実施、地 域植樹会場調査測量 等
3 広報啓発費	2,568,000	2,523,927	44,073	大会テーマ・シンボル マーク選定、ホーム ページ開設、植樹祭 だより発行 等
合 計	14,980,000	13,318,067	1,661,933	

収入の部 14,980,101 円
 支出の部 13,318,067 円
 差引残額 1,662,034 円

※差引残額 1,662,034 円は岡山県に戻入した。

監 査 報 告 書

第74回全国植樹祭岡山県実行委員会会則第15条第2項の規定に基づき、歳入・歳出に関する帳簿及び証拠書類について監査した結果、その内容は適切であると認めます。

令和4年4月5日

監事 石井 敏郎

令和4年4月5日

監事 森 下 慎

【第 3 号議案】



基本計画（素案）



目次

第1章 開催概要

- 1 開催意義
- 2 岡山県における全国植樹祭の開催状況
- 3 開催理念
- 4 岡山県の特徴を活かした大会の基本方針
- 5 大会テーマ
- 6 シンボルマーク
- 7 大会ポスター原画
- 8 開催会場
- 9 主催
- 10 開催規模
- 11 開催時期

第2章 式典行事計画

- 1 基本的な考え方
- 2 式典演出計画
- 3 式典運営計画
- 4 式典進行プログラム

第3章 植樹行事計画

- 1 基本的な考え方
- 2 お手植え・お手播き計画
- 3 代表者記念植樹計画
- 4 各県代表者等植樹計画
- 5 県外招待者へ苗木の贈呈
- 6 地域植樹計画

第4章 式典会場等整備計画

- 1 基本的な考え方
- 2 施設配置計画
- 3 主要施設計画
- 4 案内・誘導計画
- 5 電気・通信設備等計画
- 6 飾花計画

目次

第5章 運営計画

- 1 基本的な考え方
- 2 招待計画
- 3 招待者行動計画
- 4 受付計画
- 5 特別接伴計画
- 6 レセプション計画
- 7 会場内動線計画
- 8 会場おもてなし計画
- 9 昼食計画
- 10 医療・衛生計画
- 11 消防・防災・警備計画
- 12 実施本部計画
- 13 研修・リハーサル計画
- 14 非常時対応計画

第6章 宿泊・輸送等計画

- 1 基本的な考え方
- 2 宿泊計画
- 3 輸送計画
- 4 運行管理体制・道路交通対策

第7章 記念事業等計画

- 1 基本的な考え方
- 2 記念事業
- 3 関連事業

第8章 広報・協賛計画

- 1 基本的な考え方
- 2 広報計画
- 3 協賛計画

第1章 開催概要

1 開催意義

本県は、みどり豊かな中国山地に3つの河川（吉井川、旭川、高梁川）が源を発し、良質で豊かな水をたたえながら吉備高原、岡山平野を経て、風光明媚な瀬戸内海に注いでおり、みどりと水に恵まれた環境の中で多様な自然が育まれています。こうした多様で身近な自然は、生物多様性の保全やレクリエーションの場の提供、木材の生産など、私たちの快適な生活に欠くことのできない大切な役割を担っています。

また、県土の約7割を森林が占めており、生産量国内トップクラスのヒノキを始めとする豊富な森林資源を活用し、「伐って・使って・植えて・育てる」という林業のサイクルを循環させることで、県民共有の財産である岡山の森林をより良い姿で次の世代に引き継いでいかなければなりません。

こうした中で、令和6（2024）年に開催する第74回全国植樹祭は、多様な主体が一体となり、森林を始めとするみどり豊かな自然を守り育てる取組等を推進することにより、森林の持つ公益的機能の確保はもとより、近年、その重要性が再認識されている二酸化炭素の吸収源である森林の役割や、持続可能な形で資源を利用する「循環経済」の加速化など、未来に向けて、人と森林の理想的なかわりへつなげていけるよう、岡山ならではの特色ある有意義な大会とします。



第1章 開催概要

2 岡山県における全国植樹祭の開催状況

昭和42(1967)年 4月9日、金山山頂（岡山市）において、天皇皇后両陛下をお迎えし、「拡大造林と環境緑化」を大会テーマに、第18回全国植樹祭を開催しました。

当日は、あいにくの荒天となり、開催規模を約200人に縮小（晴天時は13,000人を予定）して実施されました。会場のテントの中で、両陛下はアカマツを鉢にお手植えになりました。

また、翌4月10日、蒜山地域（旧真庭郡川上村）において、天皇陛下はアカマツを、皇后陛下はヒノキをお手播きになりました。



アカマツをお手植えされる天皇皇后両陛下（岡山市）



お手植え苗木移植式
（4月17日 岡山市）



両陛下お手植えの苗木の移植
（4月17日 池田厚子さん）



お手播きされる天皇皇后両陛下（蒜山地域）
（天皇陛下：アカマツ、皇后陛下：ヒノキ）

第1章 開催概要

3 開催理念

私たちは、第74回全国植樹祭の開催を通じて、「豊富な森林資源の循環利用」を進めるとともに、森林の持つ公益的機能の確保に努めます。

また、県民一人ひとりの緑化意識のさらなる醸成を図り、豊かな自然を守り育てるための県民運動を拡大する契機とし、みどりあふれる郷土を未来の子どもたちへつないでまいります。併せて、本県の歴史・文化など数多くの魅力を全国に発信します。

4 岡山県の特徴を活かした大会の基本方針

(1) 未来に向けて多様で豊かな森林を守り育て、人と森林の理想的なかかわりへつなげていく大会

- 豊富な森林資源の循環利用による林業の成長産業化の実現に向けて、「伐って・使って・植えて・育てる」という林業のサイクルを活性化させるとともに、少花粉スギ・ヒノキ苗木による植替えや木材・木質バイオマスの利用を通じて、森林の公益的機能の確保を図ります。
- 環境問題への関心の高まりから、県内各地で、森林保全活動に取り組むボランティア団体や企業等が増えています。今後、全国植樹祭に向け、より多くの県民の皆様に参加いただきながら開催の機運を盛り上げてまいります。また、この大会を契機として、緑化意識の醸成を図り、豊かな森林の緑をよりよい姿で将来へ引き継いでいきます。

(2) 岡山県の豊かな自然や歴史・文化等の魅力発信

- 中国山地、瀬戸内海、三大河川など多彩で豊かな自然や、本県の気候風土に育まれた歴史・文化など数多くの魅力を全国に発信します。
- 県外から訪れる多くの参加者に対して、関係者はもとより県民全体で「おもてなしの心」で対応し、岡山県にまた来たいと思われるような「温かみ」のある大会とします。

第1章 開催概要

5 大会テーマ

全国から応募があった1,444点の作品の中から選定しました。

晴れの国 光で育つ 緑の心

おおすみ はんな

- 作 者：大隅 絆成さん（岡山市北区・岡山市立西小学校5年生 ※選定時）
- 制作意図：岡山は晴れの国だから光を使った。育つのは緑にも心にも使えるから両方育てばいいなと思いその願いをこめた。

6 シンボルマーク

全国から応募があった471点の作品の中から選定しました。

みやかわ ちはる

- 作 者：宮川 千明さん（岡山市北区）
- 制作意図：ももっち、うらっちの足元の輪を繋げる事で、「循環」「人・活動のつながり」を表現。2人の服装は緑を基調に動きやすい格好にした。背景の桃にサンバースト（太陽光線）をあしらう事で、晴れの国のイメージも足して岡山らしさを出した。



7 大会ポスター原画

岡山県内の小中高校生等から応募があった●●●点の作品の中から選定しました。

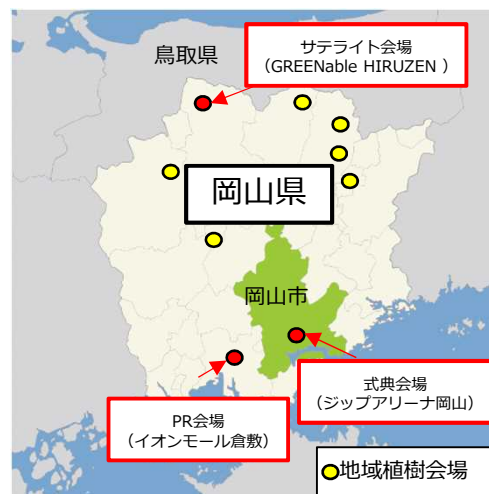
■ 作 者：

募集中

■ 制作意図：

第1章 開催概要

8 開催会場



(1) 式典会場

式典会場では、式典行事、天皇皇后両陛下によるお手植え、お手播き行事や各県代表者等による植樹を実施します。また、岡山県の魅力を発信するおもてなし広場を隣接地に設定し、参加者を歓迎します。

■ ジップアリーナ岡山（岡山市北区）

J R岡山駅から約1.5kmの岡山県総合グラウンド内に位置し、メインアリーナやサブアリーナを備え、ガラス面を多く採用し、木材を椅子、床、壁面に使用した明るく開放的で温かい雰囲気 of 体育館です。屋内施設であるため、荒天時の式典会場は別に設けません。



ジップアリーナ岡山



式典会場（イメージ）

第1章 開催概要

(2) サテライト会場・PR会場

式典参加者のみならず、より多くの県民の皆様と開催理念を共有し、第74回全国植樹祭の開催効果を高めるため、サテライト会場やPR会場を設置します。

区分	会場名	所在地
サテライト会場	GREENable HIRUZEN (グリーンブルヒルゼン)	真庭市
PR会場	イオンモール倉敷	倉敷市

■ サテライト会場



■ PR会場



(3) 地域植樹会場

令和5年度を中心とした県民参加の地域植樹会場を設置します。

区分	時期	場所	
プレ地域植樹	令和4(2022)年 秋頃	津山市阿波	だいがせん 大ヶ山牧場跡地
地域植樹	令和5(2023)年 秋頃	津山市市場	こえがたわ ウッドパーク声ヶ峠
		高梁市有漢町有漢	高梁市市有林
		新見市大佐小阪部	大佐山大日高原
		鏡野町上齋原	恩原高原
		勝央町岡	おかやまファーマーズ・ マーケット ノースヴィレッジ
アフター 地域植樹	令和6(2024)年 秋頃	津山市阿波	だいがせん 大ヶ山牧場跡地

第1章 開催概要

9 主催

公益社団法人国土緑化推進機構
岡山県

10 開催規模

第74回全国植樹祭は、県内外から参加する招待者、協力者・スタッフ等を含め、4,000人程度の規模で開催します。

参加者区分	参加予定者数	備考
県外招待者	950人	国関係者、被表彰者、各都道府県招待者 等
県内招待者	1,700人	県議会議員、市町村関係者、森林・林業・緑化関係者、実行委員会委員、県内公募による一般県民等
本部員・協力員	1,350人	実施本部員、協力員、出演者、運営ボランティア等
合計	4,000人	

11 開催時期

令和6(2024)年春

第2章 式典行事計画

1 基本的な考え方

式典行事は、次の事項を基本として実施します。

- 開催理念を共有するとともに、参加者の心に残る内容の大会とします。
- 式典は、簡素化を図りながらも、厳粛で品格があるものとします。
- 県内外から、若い世代、高齢者、障害のある方等できる限り多くの皆様や大会に賛同いただいた企業、団体等が参加できるよう配慮します。

2 式典演出計画

式典は、プロローグ、記念式典、エピローグの3部構成とします。

区分	演出テーマ	内容
プロローグ	もり 森林の軌跡	○招待者を歓迎する気持ちを表現 ○おかやまの林業の歴史や森林と人の関わりを紹介
記念式典	もり 森林への想い	○森林への想いや都市とのつながり、決意を表明
エピローグ	もり 豊かな森林を次世代へ	○岡山の豊かな森林を次世代へつなげていくことを全員で確認し、全国に発信

3 式典運営計画

式典運営は、次の事項を基本とし、岡山県らしさを感じていただける運営を行います。

- 式典の運営は、参加者の安全性や快適性に十分配慮し、児童・生徒やボランティア等の協力を得ながら行います。
- 司会者や式典補助員、式典音楽隊の出演者等については、児童・生徒をはじめ県内の関係団体等の協力と参加を得て編成します。

第2章 式典行事計画

4 式典進行プログラム

時間	区分	プログラム	進行内容
50分程度	プロローグ	プロローグアトラクション	森林の軌跡
60分程度	記念式典	天皇皇后両陛下 御到着	
		開会のことば	国土緑化推進機構副理事長
		三旗掲揚・国歌斉唱	
		主催者挨拶	大会会長（衆議院議長）、岡山県知事
		天皇陛下のお言葉	
		表 彰	緑化功労者などへの表彰
		苗木の贈呈	贈呈：児童・生徒 受贈：農林水産大臣、環境大臣
		天皇皇后両陛下お手植え・お手播き 代表者記念植樹	
		メインアトラクション	森林への想い
		大会宣言	国土緑化推進機構理事長
		リレーセレモニー	次期開催県への引継ぎ
		閉会のことば	岡山県議会議長
		天皇皇后両陛下 御退席	
30分程度	エピローグ	エピローグアトラクション	豊かな森林を次世代へ

第3章 植樹行事計画

1 基本的な考え方

植樹行事は、次の事項を基本として実施します。

- 将来目指すべき森林の姿をイメージした上で、本県の気候風土や地域の特性に適した樹種で、県民の皆様に親しみのあるものを選定します。
- 式典会場内にお手植え所・お手播き所、代表者記念植樹地を設けます。
- 式典会場周辺に、各県代表者等による植樹地を設けます。
- 県民参加による森づくり・身近なみどりの創出につなげていくため、地域植樹会場を設け、多くの県民の皆様が参加できるようにします。
- 植樹用の苗木は、県内で採取した種子等により育成したものを使用することを基本とし、地域植樹では児童など県民の皆様が育てた苗木も使用します。

2 お手植え・お手播き計画

- 天皇皇后両陛下に、お手植え、お手播きを賜ります。
- お手植えされた記念樹は、第74回全国植樹祭の開催を記念し、県土を育む豊かな森づくりのシンボルとして大切に管理・育成していきます。
- お手播きされた種子から養成した苗木は、岡山県が管理・育成し、県内の公共施設等に「記念樹」として配付します。



第70回全国植樹祭（愛知大会）

第3章 植樹行事計画

■ 天皇陛下お手植え樹種

県を代表する有用な樹木3種を選定

樹種	特徴・選定理由など
アカマツ (抵抗性：桃太郎松)	 ・県の木として広く県民に親しまれています。 ・建築材としての利用のほか、備前焼の燃料として利用されています。 ・第18回大会（昭和42年）で天皇皇后両陛下がお手植えされた樹種です。
ヒノキ (少花粉)	 ・県の林業を支える主要樹種で、県内には気候風土に適したヒノキが多く植えられています。 ・建築材などに利用され、生産量は全国トップクラスです。 ・第18回大会で皇后陛下がお手播きされた樹種です。
スギ (少花粉)	 ・県の林業を支える主要樹種で、ヒノキの次に多く植えられています。 ・建築材やC L Tの材料として利用されています。

■ 皇后陛下お手植え樹種

県にゆかりのある花や実の美しい樹木3種を選定

樹種	特徴・選定理由など
クロガネモチ	 ・地方名の「あくら」は岡山市内の道路の名称としても親しまれています。 ・5月から6月頃に淡紫色の小花を咲かせた後、赤い実を付けます。
アテツマンサク	 ・阿哲郡（現・新見市）で発見され、命名された地域固有種です。 ・2月から3月頃に淡黄色で短冊のような花を咲かせます。
キクザクラ	 ・昭和28年に昭和天皇が行幸啓の際、後楽園に植樹されました。 ・池田厚子さん（順宮厚子内親王）のお印です。 ・4月下旬に淡紅色の多数の花弁を付ける「菊咲き」をします。

第3章 植樹行事計画

■ 天皇陛下お手播き樹種

将来にわたり林業を支える樹木2種を選定

樹種		特徴・選定理由など
ヒノキ (少花粉)		・将来にわたり林業を支える樹種として県が普及に取り組んでいます。
スギ (少花粉)		※木材の利用期を迎えているスギ・ヒノキ人工林の伐採に併せて、跡地に少花粉苗木による植替えを促進するなど花粉発生源対策に取り組んでいます。

■ 皇后陛下お手播き樹種

四季折々の景観を形成する花や紅葉の美しい樹木2種を選定

樹種		特徴・選定理由など
ヤマザクラ		・県内に広く自生する野生種で、県の天然記念物など、地域のシンボルとなっています。 ・淡紅色の花を咲かせ、新緑の山野に春の風情を添えています。
イロハモミジ		・県内に広く自生する樹種で、国の名勝の豪渓など、多くの名所があります。 ・紅葉する様子は鮮やかで、秋の自然景観に彩りを添えています。

3 代表者記念植樹計画

- 招待者代表は、式典会場で、天皇皇后両陛下の2本目のお手植えと同時にそれぞれ1本ずつ行います。
- 樹種は、天皇皇后両陛下のお手植えと同じ樹種とします。
- 代表者記念植樹木は、アフター地域植樹等において、本県の森づくりに活用します。

第3章 植樹行事計画

4 各県代表者等植樹計画

- 各県代表者等は、式典会場周辺で、式典開始前にそれぞれ1本ずつ植樹を行います。
- 樹種は、天皇皇后両陛下のお手植えと同じ樹種とします。
- 各県代表者等植樹木は、アフター地域植樹等において、本県の森づくりに活用します。

5 県外招待者へ苗木の贈呈

- 県外招待者には、岡山後樂園を彩る樹木から育てた苗木を贈呈します。
- 全国各地において植樹をしていただくことにより、岡山から全国へ、身近なみどりの創出につなげてまいります。

6 地域植樹計画

- 令和5年度を中心に県民参加による植樹を行います。
- 岡山県の気候風土や会場の特性に適した樹木を植樹します。
- 児童など県民が育てた苗木も使用します。
- 木工体験等のイベントを併催し幅広い世代の県民の皆様に参加していただきます。

区分	時期	場所	
プレ地域植樹	令和4(2022)年 秋頃	津山市阿波	だいがせん 大ヶ山牧場跡地
地域植樹	令和5(2023)年 秋頃	津山市市場	こえがたわ ウッドパーク声ヶ峠
		高梁市有漢町有漢	高梁市市有林
		新見市大佐小阪部	大佐山大日高原
		鏡野町上齋原	恩原高原
		勝央町岡	おかやまファーマーズ・ マーケット ノースヴィレッジ
アフター 地域植樹	令和6(2024)年 秋頃	津山市阿波	だいがせん 大ヶ山牧場跡地

第4章 式典会場等整備計画

1 基本的な考え方

- 既存施設の活用など経費削減を図ることを基本とします。
- 県産木材を積極的に使用します。
- 使用した県産木材は、再使用及び再生利用等を行います。

2 施設配置計画

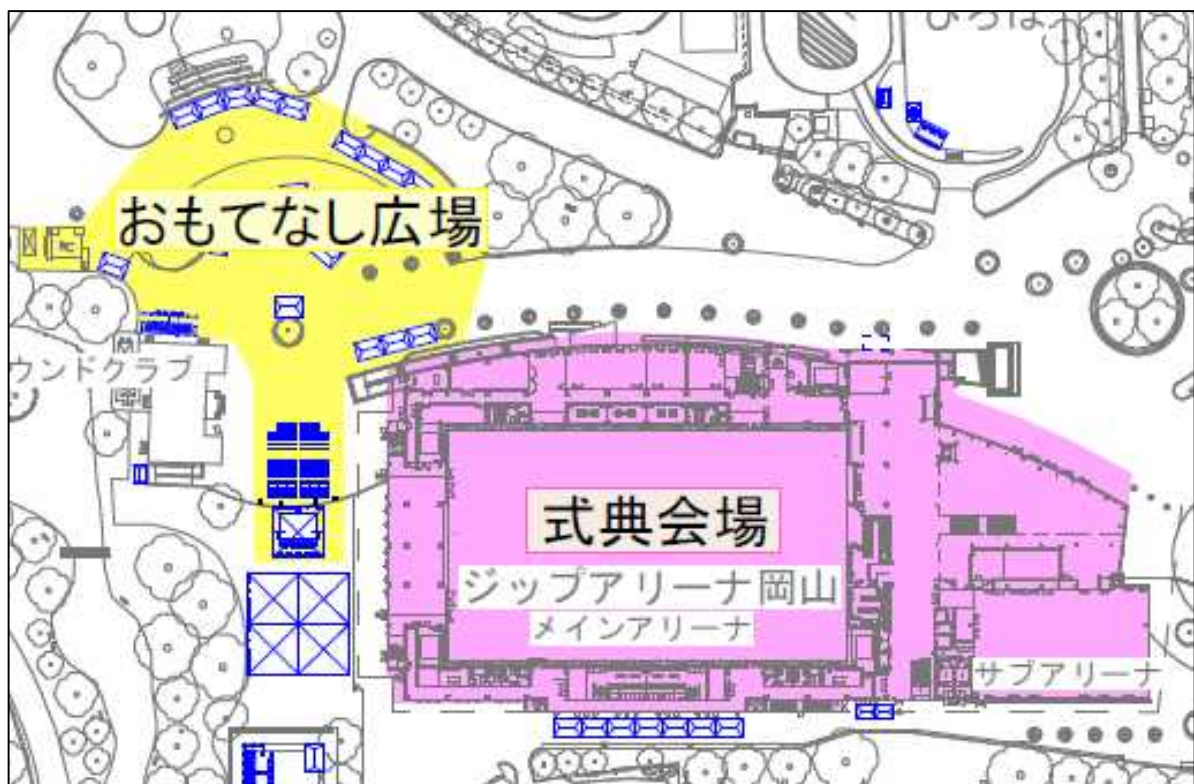
(1) 式典会場

会場レイアウトや構造物等については、安全性や機能性を考慮し、全ての参加者が安心して快適に参加できるよう配慮します。

(2) おもてなし広場

式典会場と隣接しておもてなし広場を設置し、招待者に岡山の魅力をPRします。

敷地図

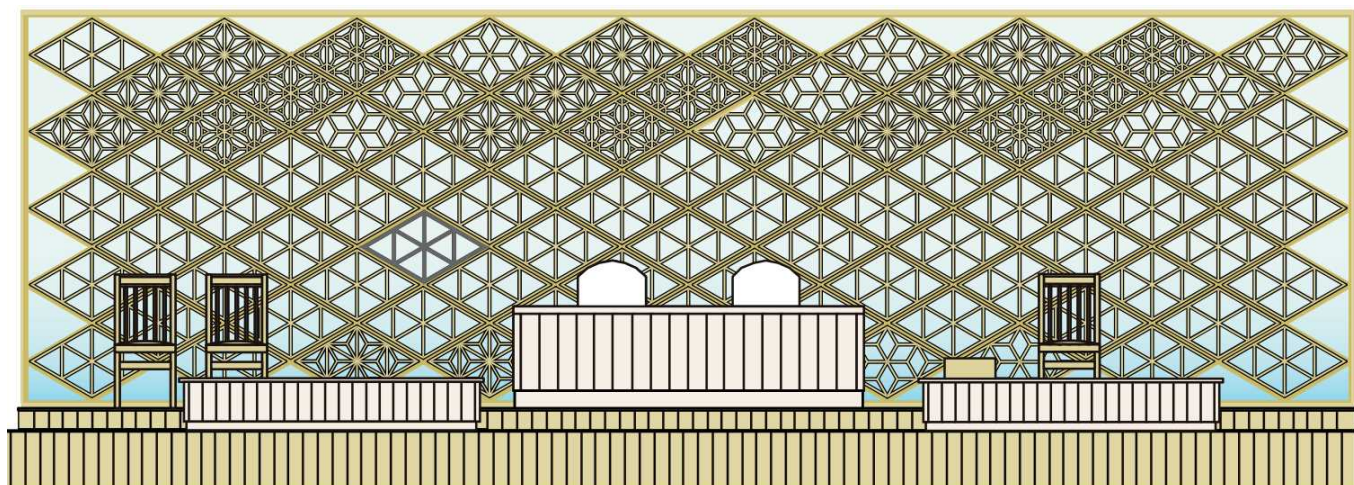


第4章 式典会場等整備計画

3 主要施設計画

(1) 御座所

- みどり豊かな中国山地に源を発し、県内を流れる三大河川（吉井川、旭川、高梁川）を伝統木工技法である組子で表現しています。
- それぞれの河川を彩る四季折々の花々のほか、古来より着物等の布地として利用されてきた麻の葉や川面にきらめく陽光を組子で表現することにより、「晴れの国」や「光で育つ緑」を感じさせるデザインとします。



(2) CLTゲート

- ヒノキの生産量が全国でもトップクラスの岡山県産ヒノキCLTを、ジョイント金具を使用せずに結合し、強固な六角アーチを形成したデザインとします。
- 日本の伝統木工技法である組子細工の技術をCLT建築へ応用しています。



CLTゲート

第4章 式典会場等整備計画

(3) 会場内工作物

- 会場内工作物は、全国植樹祭終了後の再利用を考慮して制作します。
- 原則として県産木材を使用し、安全性、経済性及び周辺の景観に配慮したものにします。



木製ベンチ



木製プランターカバー

第71回全国植樹祭（島根大会）

4 案内・誘導計画

- 招待者が安全かつスムーズに式典や植樹行事などに参加することができ、各施設等への移動に支障がないよう、各所に案内サインを設置します。
- 案内サインの材料には、県産木材のほか、リユース可能な製品の活用等、環境に配慮した資材の使用に努めます。
- 案内サインは、ユニバーサルデザインに留意し、招待者が見やすい色彩、大きさにするとともに、見やすい位置、高さに設置します。また、視覚障害者向けに音声案内設備を設置するなど、障害等の特性に応じた方法で案内できるよう対応します。

配置区域	サイン種別	内容
会場全体	施設表示	各エリア、施設等の名称を表示
	誘導	招待者を各エリア、施設等に誘導するサインを動線上に設置
	注意事項	遵守事項、安全管理事項、手荷物検査の協力要請事項、持ち込み禁止物に関する注意事項等を表示
式典	座席表示	招待者の座席位置等の表示
	会場案内図	会場内の全体図及び現在地の表示

第4章 式典会場等整備計画

5 電気・通信設備等計画

(1) 電気設備計画

既存設備で不足が生じた場合は、仮設電源（ジェネレーター等）を設置し対応します。

(2) 通信設備計画

運営を円滑に行うため、携帯電話やトランシーバーなどの無線通信機器を適正に設置します。

(3) 仮設トイレ計画

おもてなし広場などに適正な数量を設置するとともに、衛生面にも十分に配慮します。

6 飾花計画

会場周辺の飾花は、県内産の花きを使用し、会場の雰囲気を引き立てるとともに、招待者の安全かつ円滑な動線が確保できるよう設置します。

設置区域	内 容
式典会場	各エリアの区分や招待者の動線を明確にするとともに、会場の雰囲気を引き立てるよう、プランター等を設置します。
サテライト会場 P R会場	プランター等を設置します。



第71回全国植樹祭（島根大会）

第5章 運営計画

1 基本的な考え方

- 全国からの招待者を岡山らしいおもてなしでお迎えし、開催の意義や理念を広く発信する場とします。
- 全国植樹祭の運営に当たっては、市町村、関係団体、NPO法人、ボランティア団体等との協力、連携を図りながら進めます。

2 招待計画

参加者区分		人数	備考
①中央特別招待者		30人	国務大臣、公益社団法人国土緑化推進機構会長、岡山県知事、県議会議長、次期開催県知事、岡山市長 等
②特別招待者	県外特別招待者	220人	県選出国會議員、中央官庁・団体関係者、緑化功労者、コンクール入賞者等
	県内特別招待者	200人	県議会議員、市町村長、緑化功労者、実行委員会委員 等
	小計	420人	
③一般招待者	県外一般招待者	700人	各都道府県森林・林業関係者 等
	県内一般招待者	1,500人	県内の森林・林業・緑化関係者、県内公募による一般県民 等
	小計	2,200人	
招待者小計（①+②+③）		2,650人	
④本部員・協力員		1,350人	実施本部員、協力員、出演者、運営ボランティア等
合計（①+②+③+④）		4,000人	

第5章 運営計画

3 招待者行動計画

式典前日の行程

時間	全体進行	中央 特別招待者	特別招待者		一般招待者	
			県外	県内	県外	県内
午前						
午後						
17:30						
19:00						

			駅・空港・自宅等			
			↓	↓	↓	↓
			レセプション受付			
			↓	↓	↓	↓
	作品御覧 レセプション		レセプション		宿泊施設	
			↓	↓	夕食 等	
			宿泊施設	帰宅		

第5章 運営計画

3 招待者行動計画

式典当日の行程

時間	全体進行	中央 特別招待者	特別招待者		一般招待者		
			県外	県内	県外	県内	
8:00 9:30 9:55 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00		宿泊施設	宿泊施設	自宅	宿泊施設	自宅	
	おもてなし広場		入場チェック・着席				
			各県代表者等植樹	各県代表者等植樹	各県代表者等植樹		
		入場・着席	完全着席				
	式典行事 プロローグ	プロローグ					
		式典	代表者記念植樹	式典			
		エピローグ	昼食	エピローグ			
	おもてなし広場		昼食・休憩				
			駅等	帰宅・視察コース参加	帰宅	帰宅・視察コース参加	帰宅

※本計画の式典行事が午前開始となることを想定したものです。式典行事の開始時間や行動計画は変更となる場合があります。

第5章 運営計画

4 受付計画

(1) 受付内容

- 招待者（特別中央招待者等を除く）については、総合グラウンド内受付会場にて受付を行います。
- 必要に応じて受付業務の補助等の対応がとれるよう、関係者と連携を図ります。

区分	受付種類	受付場所	受付内容
当日①	会場受付	総合グラウンド	①本人確認 ②大会用品の配付
当日②	入場 チェック	式典会場	①手荷物・I Dカードの確認、 持込禁止品の預かり ②金属探知機

(2) 招待者に配付する記念品等

- 全国植樹祭の開催理念や大会テーマ、岡山県の自然や産業、観光資源、特産品等を全国に情報発信するために、記念品等を配付します。
- 記念品の選定にあたっては、県産品の活用を図り、環境に配慮したものとする
とともに、遠方からの 招待者の持ち帰りやすさに配慮します。
- 式典の円滑な運営のため、I Dカード等を配付します。

第5章 運営計画

5 特別接伴計画

特別接伴が必要と認められる招待者には実施本部員が次の対応を行います。

(1) 中央特別招待者

- 移動には原則として、借り上げ車等の乗用車を使用します。
- 前日は、出迎えからレセプションの受付、会場内の案内、誘導、宿泊場所への案内など常時サポートします。
- 式典当日は、出迎えから受付誘導、会場内の案内、植樹誘導、昼食案内、見送りまで常時サポートします。
- 中央特別招待者の行動が常時把握できる通信連絡体制を整えます。

(2) 特別招待者

- 移動には原則として、バスを使用します。
- レセプションに参加する特別招待者については、出迎えからレセプションの受付、会場内の案内、宿泊場所への案内など常時サポートします。
- 式典当日は、出迎えから受付誘導、会場内の案内、植樹誘導、昼食案内、見送りまで常時サポートします。
- 特別招待者の行動が常時把握できる通信連絡体制を整えます。

6 レセプション計画

天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、第74回全国植樹祭招待者の来訪を歓迎し、懇親を深める場とします。

【主 催】 岡山県

【開催日時】 全国植樹祭開催の前日

【出席者】 ・中央特別招待者

(国務大臣、公益社団法人国土緑化推進機構会長、次期開催県知事等)

・県外特別招待者

(県選出国會議員、緑化功労者、代表表彰者等)

・県内特別招待者

(県議會議員、市町村長、緑化功労者、実行委員会委員等)

第5章 運営計画

7 会場内動線計画

(1) 入場時の動線



(2) 退場時の動線

入場時のコースを反対に戻る動線とします。

第5章 運営計画

8 会場おもてなし計画

- 式典会場と隣接しておもてなし広場を設置します。招待者が快適に過ごせるよう総合案内所や湯茶接待コーナー、仮設トイレ等を整備します。
- 岡山県の森林・林業・木材産業の優れた製品・技術等を招待者に広くPRするとともに、観光案内や特産品販売を効率的、効果的に実施するため、各種展示コーナー、物産販売コーナーなどを関係団体と協力しながら設置して、本県の魅力を広く発信する空間とします。
- 会場警備上、傘の持込みができないため、事前にレインコートを配付します。

区分	種類	内容
おもてなし広場	総合案内所	各種案内・情報提供
	湯茶接待コーナー	湯茶、ミネラルウォーターの提供
	展示コーナー	岡山県の森林・林業・木材産業の優れた製品や技術等の紹介
	販売コーナー	岡山県の特産品や飲食物等の販売
	臨時郵便局	記念切手の販売、郵便・宅配サービス



第70回全国植樹祭（愛知大会）

第5章 運営計画

9 昼食計画

- 県産食材を使用した「岡山県らしい」弁当とします。
- 弁当の製造、輸送、保管、配付にあたっては、衛生・安全面に万全を期すとともに、保冷車で運搬します。
- 弁当等の容器・包装資材については、環境に十分配慮します。



第71回全国植樹祭（島根大会）

10 医療・衛生計画

（1）医療救護所の設置

- 県総合グラウンド内に救護所を設置し、傷病者の医療救護を行います。
- 消防や近隣の医療関係機関の協力を得て、緊急の場合の搬送・受入体制を整えます。

（2）衛生対策

- 保健所等の協力を得て、食品衛生や環境衛生について、関係機関と協議を行い、衛生対策体制を整備します。
- 食の安全を期すため、弁当業者や宿泊施設、会場内の食品提供施設などの指導を徹底します。
- 飲食等により発生する廃棄物の適切な処理を行い、各会場及びその周辺の環境美化に努めます。
- 国の「感染症対策の基本的対処方針」や「イベント等における業種別ガイドライン」等を踏まえて、本大会における必要な計画・方針を作成し、三密（密閉・密集・密接）の抑止や消毒等の感染リスク拡大防止などの基本的な対策を実施するとともに、今後の様々な情勢変化を把握し、迅速かつ適切な対策を講じるなど、参加者の安全を最優先に、感染症対策を徹底します。

※詳細には、運営計画を検討する中でマニュアルを作成

第5章 運営計画

11 消防・防災・警備計画

- 消防、警察その他関係機関との協力体制を築き、連携を密にして、招待者等の安全を確保し、安心して参加いただけるようにします。

(1) 消防・防災

- 実施本部が中心となり、異常事態の早期発見・通報に努めます。
- 会場内は、喫煙所を除き全て禁煙とし、主要施設には消火器を設置します。
- おもてなし広場等の火気使用についても管理を徹底します。
- 避難計画を策定し、実施本部員への周知を図るとともに、安全に避難できる体制を整えます。

(2) 警備

- 会場内での事件・事故を防止し、円滑な運営を図るため、警察等関係機関と協力して警備を実施します。
- 警備員などを配置して、警備や車両の整理、招待者等の誘導を行います。
- 式典会場の入場ゲートでは、金属探知機等による持ち物検査や入場者の確認を行います。
- 式典会場、植樹会場、駐車場等では、使用物品等の搬入後、夜間も含め、監視・巡回警備等を行います。

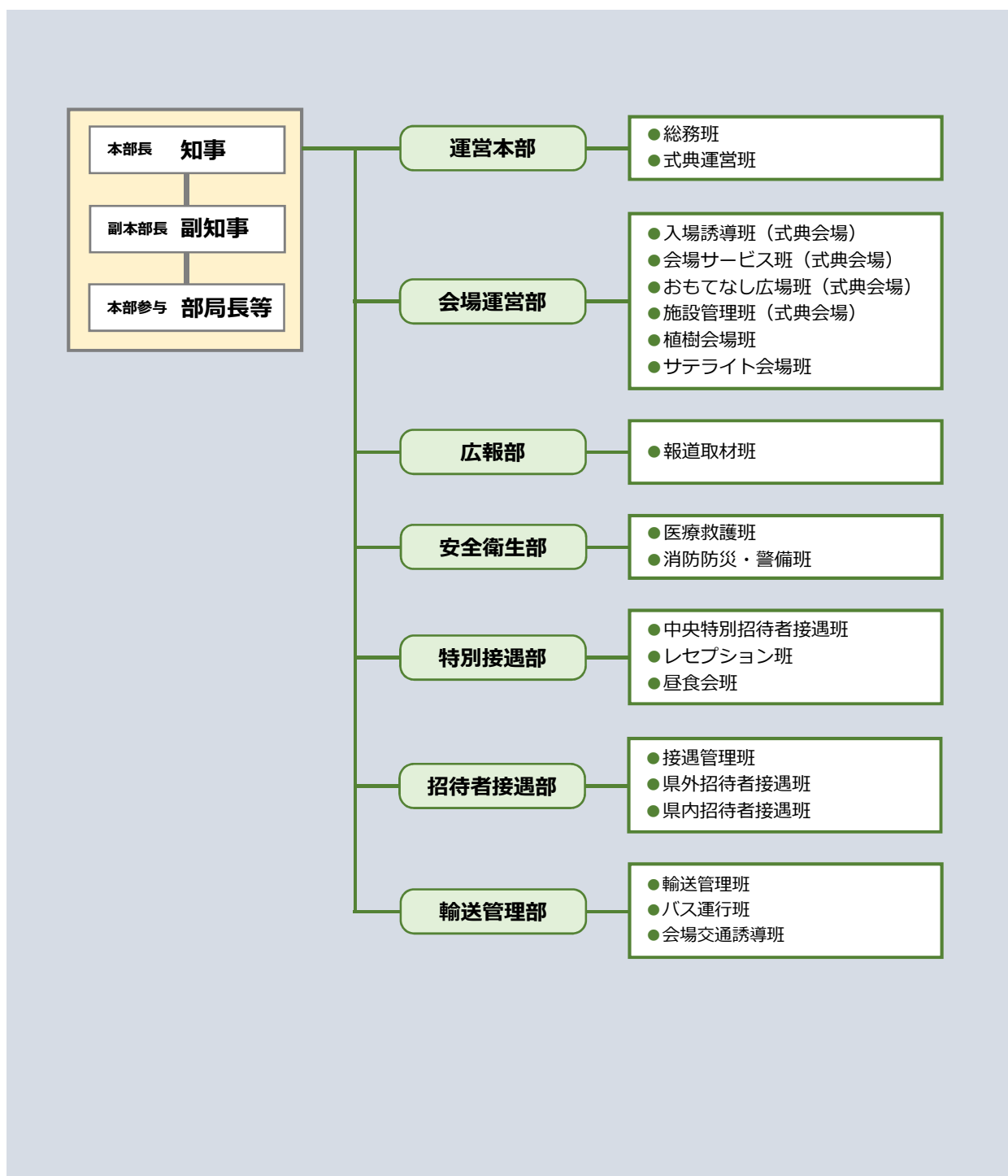
※詳細には、運営計画を検討する中でマニュアルを作成

第5章 運営計画

12 実施本部計画

- (1) 円滑な運営を図るための実行組織として、「第74回全国植樹祭岡山県実施本部」を設置します。
- (2) 県職員、ボランティアなどの協力を得て効率的な要員配置を行うとともに、実施運営の円滑化及び招待者等の安全性や快適性の確保に努めます。

○実施本部（案）



第5章 運営計画

13 研修・リハーサル計画

- 円滑な運営に向けて、実施本部員、協力員（ボランティア等）の研修を行うほか、出演者を含めたリハーサルを実施します。
- 効果的な研修・リハーサルを実施するため、事前に、各班単位の「運営マニュアル」を作成します。
- リハーサル計画に基づき、実施本部員全員が業務内容を把握できるようにします。

（１）実施本部員等の研修計画

実施本部員、協力員（ボランティア等）の研修は、事前の資料配付、現地視察、リハーサルへの参加等により実施します。

（２）研修・リハーサル計画

区分	時期	場所	参加者	内容
出演者説明会	3カ月前	未定	出演者代表	式典概要・参加内容説明
合同説明会	開催6週～4週間前	未定	実施本部員 出演者代表	式典全体の説明
式典リハーサル	開催4週～2週間前	未定	出演者（介添者） 実施本部員	式典部分のリハーサル
総合リハーサル	1週間前	式典会場	実施本部員 協力員 出演者	全体通しリハーサル、 車両・参加者誘導、接 遇研修、非常時訓練他
前日リハーサル	開催前日	式典会場	実施本部員 協力員 出演者	全体通しリハーサル、 車両・参加者誘導、接 遇研修、非常時訓練他

14 非常時対応計画

- 開催日の1週間前から随時、気象情報の収集に努め、集中豪雨、地震、突発事案を含めた非常事態が発生した場合は、実施の可否を判断するとともに、ホームページ等にて周知します。
- あらかじめ関係機関と万全の連絡体制を構築し、円滑な指示・伝達を行います。

第6章 宿泊・輸送等計画

1 基本的な考え方

- 式典前日の宿泊を希望する招待者については、旅行会社を通じて式典会場の近隣地域等で宿泊施設を手配します。
- 式典当日の輸送については、式典会場の立地を踏まえ、公共交通機関を最大限活用し、環境に優しい移動手段を検討することとします。また、宿泊地の交通状況等に応じて、一部招待者については貸切バスにより式典会場へ移動することとします。
- 宿泊施設の収容人員、宿泊料金、道路交通事情、送迎体制、式典終了後の視察ルートを総合的に勘案し、無理のない宿泊・輸送体制を整えます。
- 参加者の安全で円滑な輸送を図るため、運行ルート、輸送スケジュール及び必要な交通規制等について、関係者で綿密な検討を行うとともに、添乗員の配置・案内等により快適な輸送体制を整えます。
- 会場周辺及びアクセス道路沿線の安全を確保し、警備に万全な警備体制を構築します。
- 関係市町村や県民の皆様と協力しながら、会場へのアクセス道路沿線の美化に努め、参加者を歓迎します。
- 岡山県の温かいおもてなしの心をもって、無理のない安全・安心な宿泊・輸送体制を整えます。
- 宿泊・輸送にあたり、人と人との距離を保つなど、新型コロナウイルス感染症対策を実施します。

2 宿泊計画

- 式典会場までの道路状況やアクセス等を考慮した適切な宿泊エリア・宿泊施設を選定します。
- 宿泊エリアの特性に応じた宿泊プランを設定します。
- 食事については、本県の食を楽しんでいただけるよう工夫します。

第6章 宿泊・輸送等計画

3 輸送計画

- 公共交通機関を最大限活用し、環境に優しい移動手段を基本とした輸送計画を作成します。
- 参加者の安全で円滑な輸送を行うため、関係機関と連携を図ります。
- 式典当日の道路混雑等のリスクを想定した最短ルートを設定します。
- 中央特別招待者には警備上支障のない車両を使用します。
- 実施本部員・協力員等は当日会場参集とします。

4 運行管理体制・道路交通対策

- 式典会場周辺に輸送管理本部を設置し、運行状況の管理を一元的に行います。
- 会場周辺の道路や招待者の輸送ルートにあたる道路については、事前に道路管理者と協議の上、道路工事や道路占有許可等の必要な措置を講じます。
- 参加者及び周辺住民等の交通の安全の確保と車両の円滑な運行を行うため、関係機関の協力を得て、交通整理、交通規制等を実施します。

第7章 記念事業等計画

1 基本的な考え方

第74回全国植樹祭の開催理念を広めるとともに、森づくりや木材利用の必要性について、県民の皆様幅広く啓発するため、記念事業等を実施します。

2 記念事業

(1) 周期イベント

第74回全国植樹祭の大会の周知、開催気運の醸成等を図るため、周期イベント（1年前、200日前、100日前、アフターイベント）を開催します。

周期イベントでは、記念植樹や森林・林業・木材産業のPR、木工体験などを実施します。

区分	時期	場所	
1年前	令和5(2023)年 春頃	岡山市東区 西大寺南	西大寺緑花公園 ・百花プラザ
200日前	令和5(2023)年 秋頃	勝央町岡	おかやまファーマーズ ・マーケット ノースヴィレッジ
100日前	令和6(2024)年 冬頃	備前市日生町 日生	「五味の市」周辺広場
アフター	令和6(2024)年 秋頃	新見市大佐小阪部	大佐山大日高原



第71回全国植樹祭 島根大会
1年前イベント



木工体験

(2) 緑化意識・機運醸成イベント

県民の緑化意識・開催機運の醸成を図るため、令和5年度を中心に開催します。

第7章 記念事業等計画

(3) 地域植樹(再掲)

県内に設置した地域植樹会場で県民参加による植樹を行います。岡山県の気候風土や会場の特性に適した樹木を植樹します。

区分	時期	場所	
プレ地域植樹	令和4(2022)年 秋頃	津山市阿波	だいがせん 大ケ山牧場跡地
地域植樹	令和5(2023)年 秋頃	津山市市場	こえがたわ ウッドパーク声ヶ峠
		高梁市有漢町有漢	高梁市市有林
		新見市大佐小阪部	大佐山大日高原
		鏡野町上齋原	恩原高原
		勝央町岡	おかやまファーマーズ・ マーケット ノースヴィレッジ
アフター 地域植樹	令和6(2024)年 秋頃	津山市阿波	だいがせん 大ケ山牧場跡地

(4) 苗木のホームステイ・スクールステイ

第74回全国植樹祭記念事業等で活用する苗木の育成体験を実施します。この取組により森林や身近なみどりの大切さについて、児童・生徒をはじめとする多くの県民の皆様に知っていただくとともに、第74回全国植樹祭の開催機運を醸成します。

(5) 全市町村参画による記念植樹

第74回全国植樹祭の開催機運を醸成するため、令和5年度を中心に、県内市町村において、記念植樹を実施します。

【場 所】 各市町村の公共施設等

【内 容】 記念植樹

(6) 「木製地球儀」巡回展示

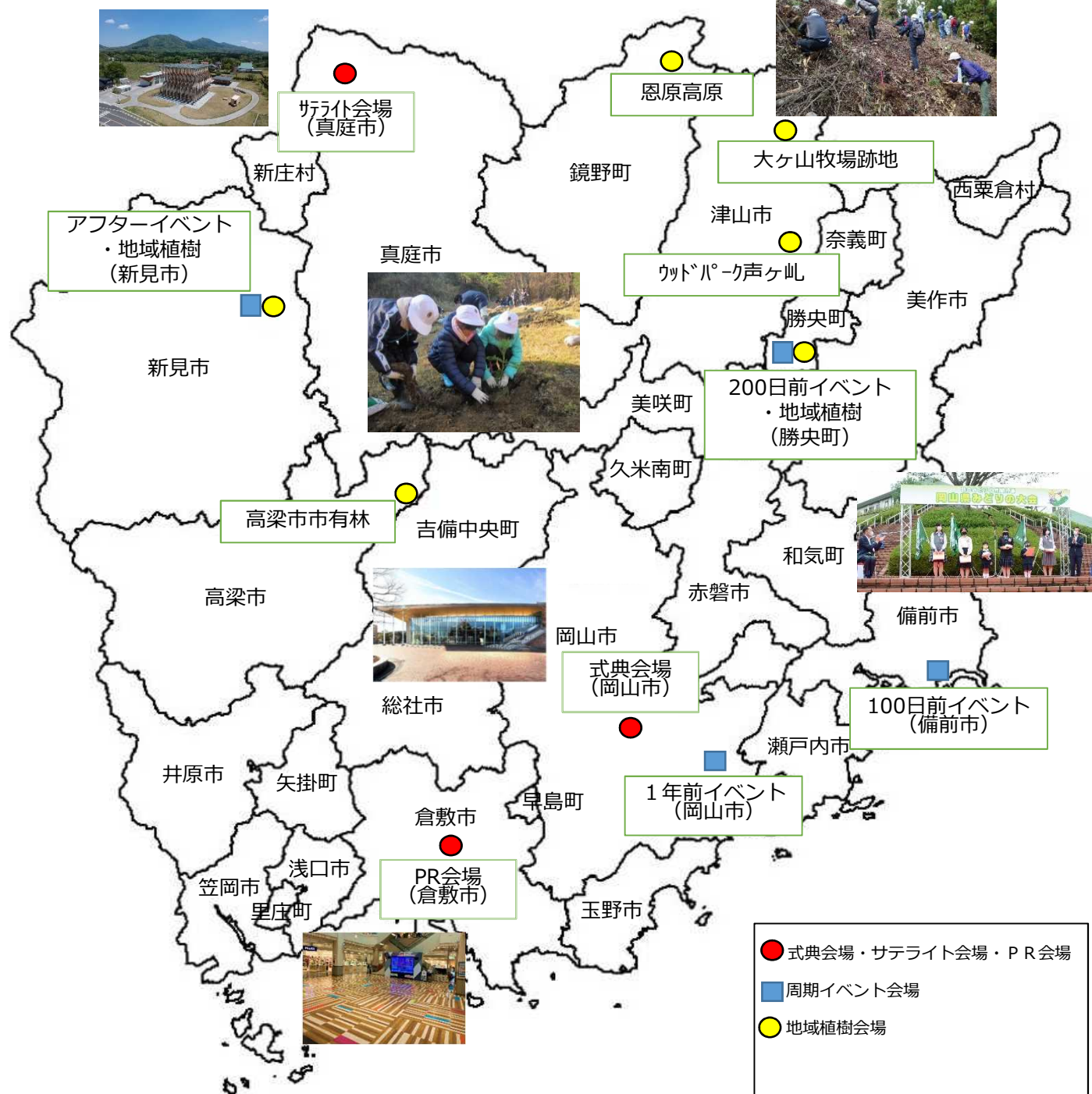
第74回全国植樹祭の開催機運を醸成するため、大会シンボルである「木製地球儀」を県内各地で巡回展示します。

(7) 記録誌の発行

第74回全国植樹祭の式典行事、植樹行事をはじめ、各種記念行事などの取組を記録誌にまとめ、関係機関等に配布します。

第7章 記念事業等計画

<周期イベント及び地域植樹会場位置図>



3 関連事業

■ 第52回全国林業後継者大会

第74回全国植樹祭の併催行事として「全国林業後継者大会」を開催します。

【時期】 令和6(2024)年春(第74回全国植樹祭の前日)

第8章 広報・協賛計画

1 基本的な考え方

- 広報宣伝や協賛募集を通じて、第74回全国植樹祭の開催理念、基本方針及び内容、大会に向けた様々な取組等について、広く普及・浸透を図り、開催への機運を醸成していくとともに、今回の大会を本県の魅力を全国に発信する絶好の好機ととらえ、効果的なPRを行います。
- 広報媒体の特性を生かした情報発信により、効果的な広報活動を実施します。また、SNSを活用し若い世代への情報発信も行います。
- ロゴマーク及び大会ポスター原画を活用し、第74回全国植樹祭の開催を県内外に広報します。

2 広報計画

(1) インターネットの活用

第74回全国植樹祭の公式ホームページを開設するとともに、SNSの活用等を通じて、各種イベント・取組等に関する情報を積極的に発信します。また、各種問い合わせや申し込みなどについても、インターネットを効率的に活用します。

(2) 公共広報媒体の活用

県及び各市町村の広報媒体を有効活用し、広く県民に向けて、きめ細かい情報提供とPR活動を実施します。

(3) マスメディアの活用

第74回全国植樹祭、記念事業等に関する情報が広く発信されるよう、テレビ、ラジオ、新聞等の各報道機関への情報提供を積極的に行います。

(4) 企業・団体との連携

ロゴマーク等の使用を広く呼びかけるなど、県内を中心とした企業・団体の支援協力による広報活動を通じ、第74回全国植樹祭の周知を図ります。

(5) 植樹祭情報紙の発行

「全国植樹祭だより」を発行し、開催準備状況や記念事業の実施状況等について情報発信します。

(6) PRグッズの作成・配布

ロゴマーク等を用いた各種PRグッズを作成・配布し、開催の周知と機運の醸成を図ります。

第8章 広報・協賛計画

3 協賛計画

- 「第74回全国植樹祭」を成功へと導き、一過性のイベントとして終わらせることなく、県民を始めとする多くの方々の心に残る実り多いものとするためには、この大会の趣旨に御賛同いただくとともに、広く支援・協力を求めています。
- 協賛企業等は、第74回全国植樹祭の式典会場や公式ホームページ、記録誌等で協賛者名を掲載、おもてなし広場に出展できるなどの特典が得られます。

(1) 資金協賛

第74回全国植樹祭の開催に要する資金（協賛金）の提供

(2) 物品協賛

第74回全国植樹祭の開催に要する物品（協賛物品）の提供

(3) その他

第74回全国植樹祭の開催に要する機器等の無償貸与、役務の提供、広告掲示等による協力



【表紙写真】

- | | |
|---------------------|-------------------|
| ①備中神楽（国指定重要無形民俗文化財） | ⑤ヒノキ人工林（新見市） |
| ②蒜山高原ジャージー牛（真庭市） | ⑥備中国分寺（総社市） |
| ③ピオーネ（栽培面積全国一位：R元） | ⑦特別史跡 旧閑谷学校（備前市） |
| ④後樂園と岡山城（岡山市） | ⑧清水白桃（栽培面積第一位：R元） |

大会ポスター原画

(実行委員会第6回総会（R5.1月頃）決定後、記載します)

第74回全国植樹祭 基本計画 令和 年 月

第74回全国植樹祭岡山県実行委員会事務局
(岡山県環境文化部全国植樹祭推進室内)



〒714-1215 岡山県岡山市北区内山下2丁目4番6号
電話番号：086-226-7872 ファクシミリ番号：086-226-7885
ホームページ： <https://www.pref.okayama.jp/site/syokujusai2024/>
または、「第74回全国植樹祭」で検索してください。



第 74 回全国植樹祭岡山県実行委員会（総会）今後の予定

会議日程	会議内容（報告、審議、決定事項等）
【設立総会】 （第 1 回総会） 令和 2 年 11 月 16 日	1 実行委員会の設立について 2 令和 2 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について 3 専門委員会への付託事項について
【第 2 回総会】 令和 3 年 3 月 23 日	1 令和 3 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
【第 3 回総会】 令和 3 年 7 月 30 日	1 経過報告（専門委員会、広報、関連事業等） 2 令和 2 年度収支決算（案）について 3 <u>基本計画の策定</u> について
【第 4 回総会】 令和 4 年 3 月 25 日	1 経過報告（専門委員会、広報、関連事業等） 2 令和 4 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について 3 <u>基本計画の策定状況</u> について
【第 5 回総会】 令和 4 年 7 月 20 日	1 経過報告（専門委員会、広報、関連事業等） 2 令和 3 年度収支決算（案）について 3 <u>基本計画（素案）</u> について
【第 6 回総会】 令和 5 年 1 ～ 3 月頃	1 経過報告（専門委員会、広報、関連事業等） 2 <u>基本計画（案）</u> について → 令和 5 年 2 月の国土緑化推進機構特別委員会で基本計画の承認・決定 3 令和 5 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
【第 7 回総会】 令和 5 年 7 月頃	1 経過報告（専門委員会、広報、関連事業等） 2 令和 4 年度収支決算（案）について 3 <u>実施計画（素案）</u> について
【第 8 回総会】 令和 6 年 1 ～ 3 月頃	1 経過報告（専門委員会、広報、関連事業等） 2 <u>実施計画（案）</u> について → 令和 6 年 2 月の国土緑化推進機構特別委員会で実施計画の承認・決定 3 令和 6 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
令和 6 年（春） 第 74 回全国植樹祭岡山県開催	
【第 9 回総会】 令和 7 年 2 月頃	1 令和 5 年度、令和 6 年度事業報告及び収支決算について 2 実行委員会の解散について

第 74 回全国植樹祭岡山県実行委員会第 5 回総会 議事概要

■日 時：令和 4 年 7 月 20 日（水）13：30～14：05

■場 所：メルパルク岡山 1 階「泰平」（岡山市北区桑田町）

■出席者：別紙出席者名簿のとおり

■議事内容

1 挨拶

実行委員会 会長 伊原木知事 開会挨拶

2 報告

（１）プレ地域植樹について【資料 1】

事務局から説明

◇質疑等：なし

（２）苗木の育成体験（苗木のホームステイ・スクールステイ）の実施について【資料 2】

事務局から説明

◇質疑等：なし

（３）企業等協賛の募集について【資料 3】

事務局から説明

◇質疑等：なし

3 議事

【第 1 号議案】第 74 回全国植樹祭岡山県実行委員会会則の一部改正について【資料 4】

事務局から説明

◇質疑等：なし

→ 出席者の拍手をもって、原案どおり承認された。

【第 2 号議案】令和 3 年度収支決算（案）について【資料 5】

事務局から説明

◇質疑等：なし

→ 出席者の拍手をもって、原案どおり承認された。

【第 3 号議案】基本計画（素案）について【資料 6】

事務局から説明

◇質疑等：なし

→ 出席者の拍手をもって、原案どおり承認された。

4 その他

今後の予定について【資料 7】

事務局から説明

◇質疑等：なし

5 議事終了後、全体意見

大森副会長（岡山市長）

開催まで 2 年を切った。岡山市としてもできる限り協力してやっていきたい。

小野副会長（（公社）岡山県緑化推進協会長）

基本計画（素案）の「第 4 章式典会場等整備計画」の御座所について、背面をヒノキの組子で映えるデザインとし、吉井川、旭川、高梁川を表現する綺麗なものとして計画されている。また、CLT ゲートもヒノキ 100% で計画されていて、綺麗なゲートを作っていただきたいと思う。ヒノキの生産量は全国 1 位となっているので、よいものを作っていただきたい。

横田副会長（岡山県副知事）

開催まで 2 年を切った。県民の機運醸成が大事だと思っている。様々な準備で多くの県民の方が参加できるよう取り組んでいきたい。

加藤顧問（岡山県議会議長）

素晴らしい大会になるよう最後までよろしくお願いしたい。

※総会終了後、協賛金贈呈式及び感謝状授与を実施